

平成28年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	協伸クラブ
出 席 者	輿石賢一・山本雄次・木内吉英
事 業 名	企業誘致について
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 韮崎市での課題と研修・調査の目的

本市では、三井金属鉱業(株)、東京エレクトロン山梨(株)等、大手企業を誘致してきたが、県外への流出が続き、市内の若者が就労する場が少なくなっている現状から、長泉町の企業増加(誘致)の手法を研修し、今後の本市の雇用機会の創出に活かしていくこととしたい。

2 実施概要

実 施 日 時	視察先	長泉町役場
平成29年2月14日(火) 午前10:00~午後0:00	担当部局	企業立地担当課
報 告 内 容	<p>1. 長泉町の概要</p> <p>人口は平成29年2月1日現在で43,034人。世帯数は16,417戸で、静岡県東部に位置し、三島市、沼津市、裾野市、清水町に接した面積26.63km²の、首都圏のベッドタウン域にもなっており、東海道新幹線三島駅、新東名高速道路長泉沼津ICが近く、広域交通の結節点として利便性が高い立地となっている。また良好な自然環境から企業誘致も進み、町内企業の活動自体も活発であり、これら企業の大きな支えが行政施策の推進していくための財政力の基盤となっていることが推量できる。</p> <p>このようなことから、従前から企業の進出も多く、異業種による工業特化が進む町であり、今後さらに企業立地が進むものと思われる。</p> <p>2. 研修内容</p> <p>人口減少が進む中であって、長泉町は人口増加や地価高騰など他地域にはない特徴から「奇跡の自治体」ということで、メディアからも注目された自治体で、34年間連続して地方交付税の不交付団体であり、地価上昇率も全国1番、またその他人口増加率、年少人口割合、生産年金人口なども静岡県下で1番と、確かな財政基盤の上に行財政運営が行われている自治体である。今回の研修目的とした企業誘致については、特に医療産業の業績に目を見張るものがあった。国から「ふじのくに先端医療総合特区」の指定を受け、新たに多数の企業が医療健康産業に参入したほか、新製品の開発なども進められ、大きな就労機会の確保につながっている。また企業誘致に対する補助制度も一例を見ると、用地取得1,000m²以上、町内雇用及び設備投資額5億円以上で、大まかには用地取得費として20%~30%、新規雇用1人あたり100万円とし、パートは50万円の支給、限度額は2億円とされ、研究所については3億円となっているとのことであった。</p>	

《考察》（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

長泉町担当者から企業誘致に向けた取り組み等の説明を受けた後、本市の上ノ山・穂坂地区工業団地への企業の進出状況などについて報告し、意見交換を行った。

企業が進出に関心を示す要件として、車両輸送に視点をおいた道路交通環境や地震などの災害に強い地域であることがポイントとして挙げられることは最近の状況から重要なことと認識を共有した。就労機会の創出は、自治体の財政に大きな影響を与えるものになると思うが、併せて人材の育成・確保も重要な事案であることを確認した。

地域、行政、企業が一体となった「まちづくり」を考えていくことが必要不可欠なことであり、今後の議員活動に活かしていく考えである。

長泉町役場での研修



感想（まとめ）・市政に活かせること

※視察先の写真等がある場合は添付のこと